

## 2023 年度 第 1 回 JSSR 専門医制度委員会 議事次第

2023 年 4 月 14 日(金) 7:00~8:00

札幌コンベンションセンター1 階 103 会議室

参加者

理事長 波呂浩孝

担当理事 中村雅也

明田浩司 海渡貴司 高橋真治 名越慈人 藤田順之 渡辺雅彦

欠席 竹下克志

(敬称略)

### 1. 理事長からご挨拶(波呂浩孝先生)

脊椎脊髄外科専門医制度は、これまで先人の先生方が築いてこられた制度であり、今後も堅牢に継続して欲しい。

### 2. 専門医制度の現況と今後の方向性について(波呂浩孝先生、中村雅也先生)

2023 年度 4 月から脊椎脊髄外科専門医研修が開始された。専門研修施設には基準 A と基準 B があることなど、間違えがないように周知していく。また、移行措置期間中に専門医試験受験することを勧告しても、受験していない指導医が現時点でも 200 名程度おり、受験しない理由を調査しながら、今後も受験を促していく。専門医研修が既に始まっていること、また、専門医取得の条件などを、今後、HP やNLで会員に周知していく。

### 3. 専門医制度 整備基準確認

- 通常研修となる。
- 専門医取得のための倫理講習の必須化に関しては、日整会を通して共通講習などを作ることも考えていくが、脊椎脊髄の文言を入れると領域講習になるため、タイトルには注意する必要がある。専門医機構の e-learning も活用することも選択肢とする。
- 項目 26 について、執刀医の数を 50 例と設定した。
- 項目 28 について、マークシート形式 5 択で、試験問題数を 50 問とすること、倫理講習を必須とすることを、それぞれ明記する。
- 項目 28 に上記の文言を加筆したうえで、専門医機構へ提出する。

### 4. 専門医制度 細則確認

- 認定研修施設について、審査料が 3 万円、登録料が 2 万円となることとなった。

- 第3章第5条について、JSSRあるいはNSJの入会後の3年以上との記載があるが、整備基準では4年以上となっており、齟齬が生じているので、整備基準にあわせて、細則の方も修正が必要である。今後、整備基準が専門医機構より正式に承認されれば、整備基準と細則との間に、他にも齟齬がないかを、委員会の方で見なおして、適宜細則の方を修正していくこととする。

#### 5. 専門医更新の E-learning

##### 1) 講師の先生への謝金について

それぞれの講師の先生には5万円の謝金をお支払いする。財源としては、JSSRではなく、JSSRとNSJが共同で管理している専門医の口座から支払う。

##### 2) 今回のご講演のデータの受け渡しについて

原則禁止とする。

##### 3) 来年度以降について

講演のデータの更新は5年ぐらいを目安とし、それまでは問題などをマイナーチェンジしていく。

#### 6. 基幹研修施設の新規申請の審査の確認

合格施設が11、不合格施設が1施設となった。

#### 7. 2023年度試験監督の確認

試験日程の確認をした。

#### その他討議事項

- 2023年度に指導医を申請する医師には、2024年度中に専門医への移行措置をとるよう、しかるべき時期にアナウンスする。

- 指導医取得のための日整会脊椎脊髄病医の必須化は議論する必要があるが、本件は指導医制度委員会の案件となり、今後お互いの委員会で情報共有を図っていく必要がある。